



平成 27 年 6 月 24 日

報道ご関係各位

北前船寄港地フォーラム in 大阪実行委員会

北前船寄港地フォーラム in 大阪 開催のご案内

平素よりご高配を賜り誠にありがとうございます。

平成 19 年から毎年、東北・北海道地方を中心とする日本海側の各都市で開かれてきた「北前船寄港地フォーラム」が、初めて大阪で開催されることになりました。

江戸中期から明治中頃にかけて、大坂と北海道を瀬戸内海、日本海経由で結んだ「北前船」は、広範囲の物流ネットワーク機能により各寄港地を拠点に日本海側に一大経済圏を形成しました。この「北前船寄港地フォーラム」は、その寄港地の都市が連携して今に残るその魅力を発信し、広域の観光ルート形成により地方創生に寄与するために実施されてきました。

第 16 回となる今回は、山陰・山陽地方も含めた航路の一方の起点である大阪において、「北前船と寄港地文化」や「大阪から巡る寄港地の魅力」などについて、意見交換や具体的な提言を予定しております。ご多用中とは存じますが、お練り合わせの上、是非ご取材たまわりますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

【名称】 第 16 回 北前船寄港地フォーラム in 大阪

【日時】 2015 年 7 月 17 日（金）13：30～18：00

【会場】 太閤園（大阪市都島区網島町 9-10 電話 06-6356-1111 地図添付）

【プログラム】

(1) 基調講演

「北前船寄港地フォーラムがもたらすもの」

石川 好 氏 北前船寄港地フォーラム議場・作家

「北前船がもたらした文化の発展～大阪の繁栄、全国への波及」

銭谷 眞美 氏 東京国立博物館館長・元文部科学省事務次官

(2) フォーラム

[テーマ] ①日本遺産と北前船寄港地文化

②北前船寄港地に見るまちづくり

③大阪から巡る寄港地、日本遺産～現代版北前船が繋ぐ

● 歓迎行事

当日 13 時、八軒家浜棧橋において当実行委員会役員らが船乗込みを行ない、桜ノ宮棧橋前および桜ノ宮公園藤田邸跡庭園で四条啜学園高校吹奏楽部のメンバーが歓迎演奏を行ないます。また会場では岡山晴美さんが東北民謡等のハープ演奏で参加者をお迎えしますので、お時間が許せばご取材いただきますようお願い申し上げます。

【主催】 北前船寄港地フォーラム in 大阪 実行委員会

当日の流れ

- 13:00～13:15 ●船乗込み
八軒家浜棧橋～桜ノ宮棧橋（役員・実行委員会）
- 13:15～13:45 ●歓迎演奏
桜ノ宮棧橋 四条畷学園高等学校吹奏楽部
藤田邸跡庭園 四条畷学園高等学校吹奏楽部
- 13:30～ ●歓迎ハーブ演奏
フォーラム会場 ハーブ奏者 岡山 晴美
- 14:00～18:00 ●フォーラム

※会場へのアクセス、会場内地図については次頁以降をご覧ください。
また、北前船寄港地フォーラムの概要、過去の経緯等については別添参考資料をご覧ください。

※ご案内先：大阪経済記者クラブ・大阪府政記者会・大阪市政記者クラブ
青灯クラブ・近畿電鉄記者クラブ

この件に関するお問合せ先：

北前船寄港地フォーラム in 大阪 実行委員会

〔事務局〕 関西・大阪 21 世紀協会 内

担当 加藤 (06)7507-2006 FAX(06)7507-5945

●北前船寄港地フォーラム in大阪 会場への道順

「藤田観光 太閤園」 534-0026 大阪市都島区網島町9-10 電話(06)6356-1111



●船乗込み (13:00~) のルート



〔添付資料〕



北前船寄港地フォーラムの概要

北前船寄港地フォーラムは、秋田公立美術短期大学・元学長の石川好氏（現在は作家、日中国交正常化40周年記念実行委員会企画委員長）の「北前船コリドール構想」に賛同した多くの皆さんの支援により開催されています。

〈北前船コリドール構想〉

北前船は江戸時代だけではなく、明治20～30年代まで北海道・東北・北陸・関西・九州を結ぶ重要な物流ネットワーク機能を果たしていました。コリドールとは、人と物が行き交う通路・大通り・回廊を意味し、かつて日本海側が栄えた北前船寄港地ルートを、点から面へ、回廊として発展させようとする構想です。

〈フォーラム開催の経緯〉

北前船コリドール会議「庄内ー秋田・経済文化活性化フォーラム」が2006年3月30日、東北公益文科大学と秋田公立美術工芸短大の共催、国土交通省・山形県・酒田市・鶴岡市・由利本荘市・にかほ市などの後援で、山形県酒田市の東北公益文科大学で開催されました。官庁の支援を受けつつ、民間による交流・連携・創造を基本としています。

同年5月に秋田市で第2回北前船コリドール会議が開催され、2007年11月、日本海側の寄港地の連携、地域間交流による活性化を図る観光フォーラム「北前船寄港地フォーラム」として第1回を山形県酒田市で開催しました。

現在は民間レベルで開催される国内最大級のフォーラムとして認められています。

〈これまでの開催地等〉

回	開催地	日時	テーマ等
第1回	山形県酒田市	H19/11/15(木)	「北前船文化遺産の活かし方
第2回	秋田県にかほ市	H20/4/11(金)	「現代の北前船を探そう」～地域の連携を強化して～
第3回	秋田県男鹿市	H20/9/20(土)	「蘇れ 北前船が拓いた夢航路」
第4回	北海道松前町	H21/5/22(金)	「新時代の、北前船浪漫を求めて」
第5回	新潟県新潟市	H21/7/17(金)	「北前船スピリット再び」 ～新潟県に今、求められるものは～
第6回	新潟県佐渡市	H22/3/20(土)	「今、佐渡観光に求められるもの」
第7回	青森県青森市	H22/5/28(金)	第一部「国際的視点で青森県の観光振興を考える」 第二部「県外・県内から青森県の観光振興を考える」
第8回	青森県鯉ヶ沢町 深浦町	H23/5/28(土)	「蘇れ！北前船の絆を今に！」 ～連携による地域活性化と後世への伝承の第一歩～
第9回	北海道函館市	H24/5/25(金)	「受け継がれる北前船マインド(絆)」 ～これからの観光のあり方～
第10回	新潟県長岡市	H24/9/28(金)	「世界へ広がる海の道、これからの北前船」 ～日本海側の広域連携と世界へ向けた可能性を探る～
第11回	山形県酒田市	H25/3/8(金)	「北前船遺産を日本と世界に発信!!」 ～庄内の発展と北前船 ～現代に生きる北前船
第12回	秋田県男鹿市	H25/10/25(金)	「秋田県・男鹿市の観光と産業の発展」 ～ロシア・韓国・中国との交流推進～ ～エネルギー・環境と今後の秋田の産業について～
第13回	新潟県新潟市	H25/10/25(金)	「日本海軸と国土の強靱化ー拠点としての新潟ー」 ～日本海新時代と新潟～
第14回	秋田県秋田市	H26/4/18(金)	「活かそう、大いなる遺産。いま、知と勇のネットワーク」 ～秋田を輝かせる人たち 30人 ～未来につなぐ観光!秋田の夢-希望～
第15回	京都府宮津市	H26/7/25(金)	「つなぐ・結ぶ ～北前船からのおくりもの～」～貴重な歴史遺産「北前船」を活かした広域連携を考えよう!～